



## ○1階:学校であったことを活かして地域に開き、多様な人々がゆるやかに対話できる空間

- ・1階は地域住民や近隣の学校も利用可能な開かれた空間とし、世代を超えた交流が生まれる配置とします。
- ・車と歩行者の動線を明確に分けることで、両者にとって使いやすく、安全な計画とします。
- ・平日は庁舎として、休日は市民の交流拠点として、また災害時は受援拠点として、多様な活動を支援する配置計画とします。

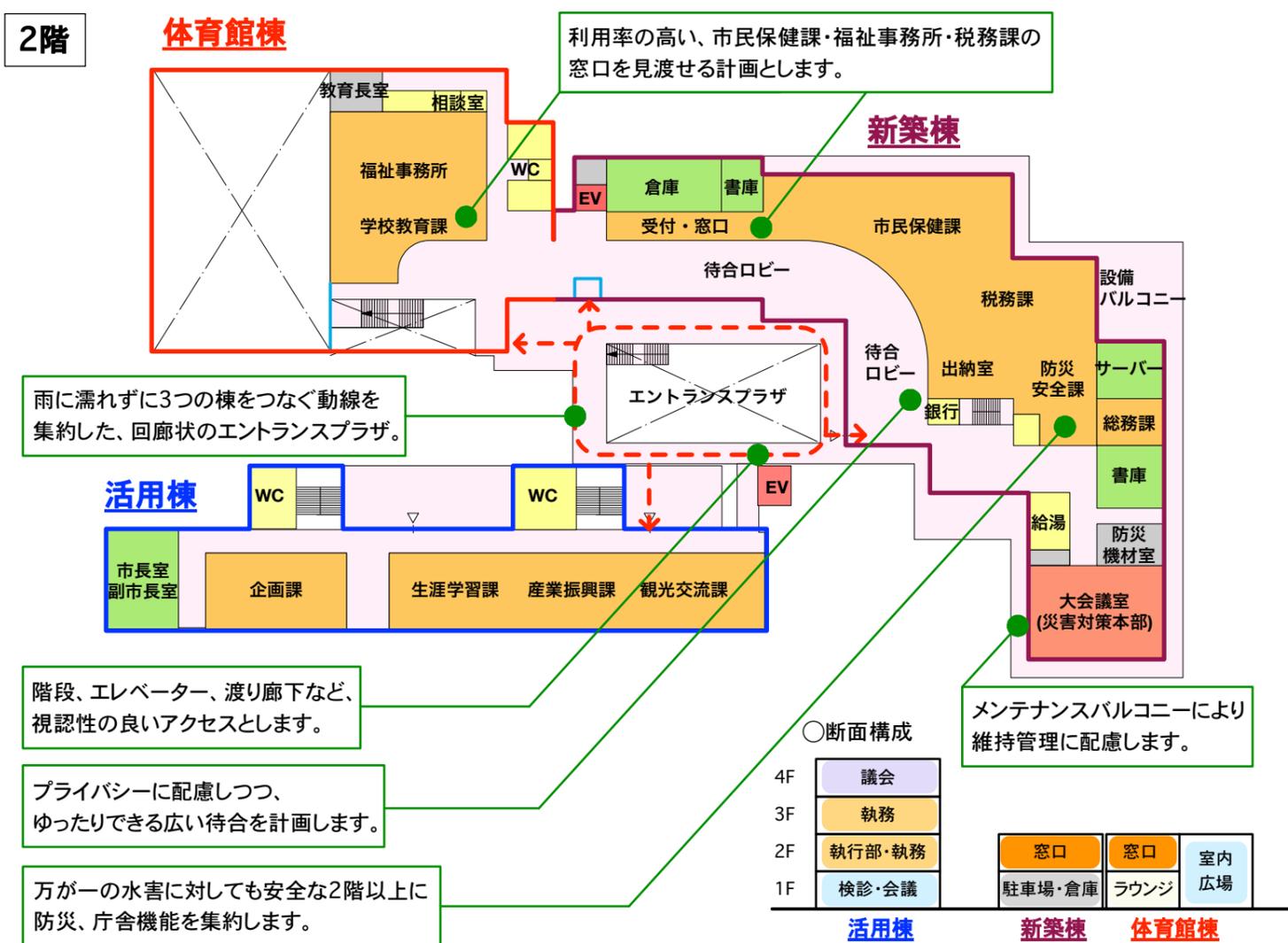


### ○建築概要

	延床面積	構造種別	階数
体育館棟	1538㎡	SRC+S造	地上2階
新築棟	1758㎡	RC造	地上2階
活用棟	3082㎡	RC造	地上4階
敷地面積	16,268㎡		

## ○2階:窓口機能を集約した全体が見渡せる利用者にやさしい庁舎

- ・窓口機能を2階中央部に集約することにより、すべての人にとってわかりやすい平面計画とします。
- ・エントランスプラザを中心とした動線計画とすることにより、各棟・各階の行き来をスムーズに行えるよう配慮します。



### ○ワークショップを通して地域の人の意見を反映

- ・設計期間中に市民、在勤在学者を対象としたワークショップを複数回行い、参加者からの要望や、下田がもつポテンシャルを発掘し、設計に反映します。
- ・ワークショップでは地域開放ゾーンを中心に利用のアイデアや市民参加型の維持管理方法を共に考え、市役所がオープンした後も、当事者として市役所運営に関われるきっかけづくりを行います。

○令和5年5月23日に開催された下田高校の学生とのWSの様子



※本資料は現段階の想定であり、今後設計を進める中で変更となる可能性があります